

# 初心者でも海上散歩

熊野マリンスポーツ推進委員会(池田宣政会長)は22日、熊野市の新鹿海水浴場で委員7人を対象にスタンドアップパドルサーフィンとは大きなサーフボードに



池田宣政会長

立ち、パドルを使ってかじを取  
りながら海上を進むマリンス  
ポーツ。講習会は、新鹿海水浴  
場の魅力を向上させるための、  
現在のシーカヤック、一人乗り  
小型ヨットに続くアイテム作り  
が目的。講師にプロ選手の河合  
辰巳さんを招き、元ビーチバ  
レー選手で日本ビーチ文化振興  
協会の朝日健太郎理事長も同行  
した。  
委員は全員が初体験。パドル  
の操作、ボードの運び方など基  
本的な指導を受けた後に海上へ。



河合辰巳プロがパドル操作を指導=22日、熊野市の新鹿海水浴場

## スタンドアップパドルサーフィン 熊野市で講習会

河合講師が「絶対大丈夫」と太鼓判を押したとおり、全員が立ち上がって波の上で海上散歩を楽しんだ。

河合講師は「波が静かで湾になっていいるから、ボードが太平洋まで流されることはない。素晴らしい環境だ」と海水浴場の環境を褒め、「パドルサーフィンのボードは安定性があるので、初めてでも楽しめる」と話し、家族でも遊べるスポーツと強調した。

池田会長は「パドルさばきが難しかったが、誰でも乗れる魅力がある。スタッフがもう少し練習して、みんなに広めたい」と述べた。

このスポーツは、2005年ごろから国内でも注目されだし、人気もつなぎ上り。現在1万人の愛好者がいるという。同海水浴場は昨年2万1000人の来場者で、00年の5万2000人と比較して半減。市では誘客の起爆剤にしようと、講習会など通じて普及を図る考え。



海上散歩を楽しむ講習参加者

(更田敏明)